

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(11)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) ピリジンは水に溶ける。【 】
- (2) 第4類の危険物の容器の詰替えは屋内で行う方がよい。【 】
- (3) アセトアルデヒドは酸化するとエタノールになる。【 】
- (4) 二硫化炭素は、無色の液体で水より軽く、水に溶けやすい。【 】
- (5) トルエンは濃硝酸と反応し、トリニトロトルエンを生成することがある。【 】
- (6) アセトンは水に不溶で、水に浮く。【 】
- (7) 第4類のアルコール類は水よりも沸点が低い。【 】
- (8) エタノールはナトリウムと反応して酸素を発生する。【 】
- (9) メタノールとエタノールは硝酸と混触すると、発火や爆発のおそれがある。【 】
- (10) 軽油の発火点は、自動車ガソリンより低い。【 】
- (11) 酢酸の引火点は常温より低い。【 】
- (12) 灯油は流動しても静電気を生じない。【 】
- (13) 重油は種々の炭化水素の混合物である。【 】
- (14) グリセリンはエーテルに溶けにくい。【 】
- (15) 動植物油類において、ヨウ素価が大きいものほど自然発火しやすい。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(11)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) ピリジンは水に溶ける。 【○】  
水によく溶ける。
- (2) 第4類の危険物の容器の詰替えは屋内で行う方がよい。 【×】  
屋外がよい。空気による拡散や希釈効果のため。
- (3) アセトアルデヒドは酸化するとエタノールになる。 【×】  
酸化すると酢酸になる。
- (4) 二硫化炭素は、無色の液体で水より軽く、水に溶けやすい。 【×】  
水より重く、水に溶けない。
- (5) トルエンは濃硝酸と反応し、トリニトロトルエンを生成することがある。 【○】  
濃硝酸と反応し、トリニトロトルエンを生成することがある。
- (6) アセトンは水に不溶で、水に浮く。 【×】  
水によく溶ける。
- (7) 第4類のアルコール類は水よりも沸点が低い。 【○】  
水よりも沸点が低い。
- (8) エタノールはナトリウムと反応して酸素を発生する。 【×】  
ナトリウムと反応して水素を発生する。
- (9) メタノールとエタノールは硝酸と混触すると、発火や爆発のおそれがある。 【○】  
第6類危険物である硝酸と混触すると発火や爆発のおそれがある。
- (10) 軽油の発火点は、自動車ガソリンより低い。 【○】  
軽油の発火点は約 220℃。ガソリンの発火点は約 300℃。
- (11) 酢酸の引火点は常温より低い。 【×】  
引火点は常温より高い。
- (12) 灯油は流動しても静電気を生じない。 【×】  
電気の不導体であり、流動により静電気を生じる。
- (13) 重油は種々の炭化水素の混合物である。 【○】  
種々の炭化水素の混合物である。
- (14) グリセリンはエーテルに溶けにくい。 【○】  
エーテルに溶けにくい。
- (15) 動植物油類において、ヨウ素価が大きいものほど自然発火しやすい。 【○】  
ヨウ素価が大きいものほど自然発火しやすい。